

新和会

政策要望達成状況の評価



大津市議会新和会

将来を見据えた 重点要望に対す評価

1. 市役所庁舎整備について

- (1) 災害時に対応拠点となる市役所庁舎について、感染症対策も含め、職員が安心して働ける環境を整えるとともに、市民が親しみをもって安心して来庁できるタウンホールとして早期に整備を進められたい。

評価 A 令和3年に市庁舎整備基本構想策定にむけ始動

2. 市民センター機能のあり方について

- (1) 市民センターを地域の拠点として位置づけ、市民の利便性を高めるため、人員の配置を含め、一層の機能強化を図られたい。

評価 A 窓口一般 6名増で113人（令和2年 窓口一般107人）

- (2) 市民センターの防災機能について、昨今の災害等を踏まえ、ICTを活用して充実を図られたい。

**評価 A 各市民センターに市民サービスのため端末タブレットの配備
窓口番号発券機、レジスター、自動つり銭機の設置**

3. まちづくりについて

- (1) 琵琶湖を活かした湖上交通の整備をすすめるため、国・県と連携して、雄琴港の整備を図られたい。

評価 C 琵琶湖汽船による小型船運行の意見あるも、進捗なし

- (2) JR瀬田駅の乗降客数については、駅を中心としたエリアの人口増加、びわこ文化公園都市内の新県立体育館の建設などにより増加が見込まれる。JR瀬田駅前広場や周辺道路の整備、また、今後のまちづくりについて協議会等を設置するなど、地域住民とともに計画策定を進められたい。

評価 C 進捗なし

- (3) 県都大津市及び琵琶湖観光の玄関口となるJR大津駅周辺の整備を図られたい。

評価 A 駅前公園整備完了

- (4) 適切な教育環境を確保するため、老朽化した学校施設の長寿命化をすすめるとともに、教育施設、地域施設の複合化等についても検討されたい。

**評価 A 小中2校の長寿命化改修へ 小中2校トイレ全面改修へ
複合化は児童クラブ等について検討及び研究。**

- (5) 昨今の激甚災害の状況に鑑み、災害ごみや援助物資の輸送等について、計画に基づいた対応ができるよう取り組まれない。

評価 B 新型コロナウイルス感染症対策では一定の成果

4. 湖西地域振興について

- (1) 大津市・志賀町合併建設計画に基づく事業を早期かつ着実に実施されたい。また、高齢化がすすむなか、JR湖西線蓬萊駅以北の5駅について、市単独事業としてでも、エレベーターの設置などバリアフリー化と駅前の整備を促進されたい。さらに、小松学区の公民館の設置を図られたい。

評価 A 大津市・志賀町合併建設計画の5年延長

比良駅のバリアフリー化へ

- (2) 北部地域のまちづくりのために湖西台の開発に着手するとともに、そこを通る都市計画道路3.4.52号堅田駅西口線の整備を図られたい。また、これらに関し、地域、庁内の意見を広く聞くため、促進協議会を設置されたい。

評価 B 湖西台については進捗なし

都市計画道路3.4.52号堅田駅西口線の整備前進

5. 保健・医療・福祉の充実について

- (1) 地域で安心して暮らせるまちづくりを行うために、すこやか相談所等の充実や民生委員・児童委員の活動の支援に取り組まれない。

評価 A 民生委員・児童委員待遇改善

- (2) 地域包括ケアシステムが円滑に稼働されるよう、地域の課題に寄り添い訪問診療や訪問看護、さらに介護の充実を図られたい。

評価 A 保健師の増員 7名

- (3) 特別養護老人ホームの待機数が多い実情に鑑み、新規設立や拡充などに取り組まれない。

評価 A 新規の民間施設設置へ

6. 農業・林業政策について

- (1) 学校給食において大津産の米等の地産地消を推進するとともに、食育の充実を図られたい。

評価 B 一定進められているものの、米については不可

- (2) 農業、林業の担い手の育成及び次世代対策について検討されたい。

評価 B 農業振興ビジョン（第2期）が策定されるなど一定評価、

(3) 自然災害に対する備えのため、治山治水に努められたい。

評価 A

7. 生涯学習の充実について

(1) 市立図書館及び学校図書 of 充実のため、従来の紙ベースの図書の充実を図るとともに、オーディオブックや電子図書についても計画的な導入のための予算を計上されたい。

評価 A 図書費の増額補正

オーディオブックや電子図書の充実

移動図書館車両更新

8. 学校教育の充実について

(1) トイレの洋式化及び改修について、長寿命化対策とは別に市単独事業として早急に取り組まれたい。

評価 A 小中2校トイレ全面改修へ（年次計画に）

(2) 生徒指導加配や複数養護教諭加配、支援員等の継続配置に努められたい。また、小学校の専科指導教員加配や特別支援学級の自閉・情緒障害学級について、市の独自の設置基準を検討されたい。

評価 B 自閉・情緒障害学級について、市の独自の設置基準できず

(3) 学校現場が主体的に予算を活用できるよう、光熱水費、消耗品・備品などの学校配算予算を一括して配算するなど工夫されたい。

評価 A 学校夢づくりプロジェクト